

第 10 回 十日町“みんなの学校”プロジェクト会議録（概要）

- 1 日時 令和 8 年 5 月 25 日（月）午後 7 時 00 分～午後 8 時 15 分
- 2 会場 千手中央コミュニティセンター 千年の森ホール
- 3 出席者
 - (1) 委員 36 名
 - (2) 事務局 11 名 渡辺教育長、鈴木教育文化部副参事、渡邊学校教育課長、長谷川指導管理主事、柳学校教育課長補佐、小林指導主事、徳井指導主事、平野指導主事、田村教育総務課長、中川教育総務課長補佐、田畑教育総務課教育施設係長
- 4 会議概要
 - (1) 開会あいさつ（雲尾座長）

今月、学生に「私のまちとボランティア」という課題を出して、自分の生まれ育ったまちの自慢と行われているボランティアについて調査してもらい、発表してもらった。中学・高校までに、どれだけ地元で多くの経験を積んで地元を好きになるかが活動に取り組む原動力になっていることがわかった。十日町の中学校でもたくさんの体験をさせて、十日町が大好きになり活躍できる子どもたちを育てられる、そういう学校をつくれるように本日も活発な審議をお願いします。
 - (2) グループワーク
 - ①説明（鈴木教育文化部副参事）

事前に送付した「第 10 回会議の進め方」をご覧ください。「方針（たたき台 3）」について、前回みなさんからいただいた意見を、資料 1 の「意見の反映」欄に見解としてまとめた。それを受けたものが資料 2 の「方針（素案）」となっている。特に、前回、言葉が難しいという指摘をいただいたところだが、教育大綱や国の指導要領などとの整合を図る観点から、本文中の言葉自体は変えずに脚注において解説を入れた。文章が固まってきたことから、小見出しを必要箇所に加えたり、児童生徒のアンケートやこれまで資料で説明してきた図を入れたりしてビジュアル化した。「はじめに」を表紙裏に入れた。

「十日町市らしさ」については、いただいた意見を資料 3 にまとめた。これを踏まえて、資料 2（素案）の「はじめに」の中段の枠線内書き入れている。方針（素案）のまとめ方について、みなさんから意見をいただきたい。目次の次の 1 ページに、今までなかった方針の位置づけをピラミッド型で示した。一番上の部分に「第三次十日町市総合計画、十日町市教育大綱」、その下に「十日町市学校教育の重点」、真ん中に「第 2 次十日町市立小・中学校の学区適正化に関する方針」がある。中学校の学区適正化について見直す必要が生じたことから、「魅

力ある十日町市立中学校づくり方針」を作っている。このことを図式化した。その下の(2)、本方針の期間は5年間としている。(3)で、これまでの検討経過を示している。令和元年から8年にも及んでいて50回以上の会議を重ねている。本日のグループワークは、前回同様に資料2の「方針(素案)」について、意見をいただきたいと思う。この方針(素案)のどの部分について意見があるか、事前に送った「【資料2:方針(素案)】への意見等記載用紙」に記入してほしい。このプロジェクトは、次回6月で最終回となる。このプロジェクトは、委員50名というかつてない規模であった。みなさんから多くの意見をいただき、意見総数は1,200件を超える。この意見を紐づけて、分類化して方針(素案)が作られた。各委員それぞれに考えがある中で、これまでの意見「全て」とは言えないことはもちろんだが、一定の方向性をもってこの素案にこぎつけたと思っている。今回の会議での意見を踏まえ、次回「素案」として最終的にまとめて、今後、教育委員会に回したいと思う。今回もみなさんから意見をいただきたい。

②グループワーク テーマ

「資料2:魅力ある十日町市立中学校づくり方針(素案)」について意見出し

③各グループのまとめ(発表)

内容は、別紙「グループワーク意見まとめ」のとおり

④雲尾座長(コーディネーター)の総括

しっかり読み込んでいただき、「はじめに」や「脚注」で読みやすくなったという意見がでた。委員の皆さんがしっかり読んだからわかりやすくなったことがわかるが、市民の皆さんには概要版等で理解してもらい、概要版から本編を読んでもらう展開にできればよいと思う。

(3) その他

第11回会議の開催日について説明

(4) 閉会あいさつ(庭野副座長)